

## S7.1 求核種と求電子種の用語について

求核種と求電子種の用語は、教科書によって求核試薬（求電子試薬）、求核剤（求電子剤）、求核体（求電子体）などと混乱している。英語では nucleophile (electrophile) と nucleophilic reagent (electrophilic reagent) の2種類の用語があり、使い分けられているにもかかわらず、文部省学術用語集（化学編）で両者を区別せずに“求核試薬（求電子試薬）”と規定していることに混乱のもとがある。“試薬”という用語はびんに入っている化学試薬を連想させ、異論が多く“反応剤”という用語が一般化している。その意味で nucleophilic reagent (electrophilic reagent) には“求核剤（求電子剤）”が適当だと思われるが、もっと分子的な視点の強い nucleophile (electrophile) には“求核種（求電子種）”が適切であると考えられる。これらは分子種と化学種という用語とも対応している。なお、本書でも薬品棚のびんに入っているような薬品は試薬とっている。